

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名： 兵庫県 姫路市立城北小学校
活動名： 困り感を主体性に変える ～教職員も子供もリデュースストレス～
解決すべき課題： ・時間の有効活用（定時退勤日・会議等）。保護者地域の理解（定時退勤日）。 ・教室の環境整備。年度始めの児童の困り感を軽減。 ・コロナ禍での学習の進め方
目標・方針： 教職員も児童も生き生きと！ ALL Johoku で子供を支える 教職員の個性を大切に「すべきこと」と「したいこと」どちらも大切に 児童の困り感を極力減らし、児童の個性を大切に
活動内容： 教職員が生き生きできる環境→児童が生き生きする授業 1 教職員の本分は授業！ 教材研究・授業研究・児童の見取りを行う時間の確保 【確保の仕方】① 実施可能な定時退勤日 ② 会議内容の精選等の業務改善 2 統一すれば個性が光る！ 教室の環境整備（時間割、掲示物とその位置、など） 休校中の G-suite for Education の活用
活動の成果： ・学年別リフレッシュデー：○年生リフレッシュデーカードを作り、定時退勤日以外でも進んでリフレッシュできるように推進した。併せて、学校だよりで保護者へも理解を求め、適正な勤務時間を意識できるようになった。 ・会議内容の精選等：会議時間は 1 時間以内→職員会議への提案の前に企画運営委員会で起案後、変更・改善点に絞って職員会議で提案。企画運営委員会での報告を受け、各学年で共通理解ができていたため、職員会議がスムーズに行えるようになり、話し合うべき内容に時間をかけることができるようになった。 ・教室環境の UD 化：コロナ禍により休校となったことで、職員作業の時間が確保できた。ホワイトボードを活用した時間割、授業で使用する「めあて」「ふりかえり」等の掲示物、学級会の手順等の掲示物を作成し、学校再開以降使用している。どの学年も同じ位置に同じ掲示物を使用することで次年度以降、児童の新学級への適応がスムーズになると考えられる ・校内でプロジェクトチームを立ち上げ、職員への研修を行った結果、一定のレベルでどの教職員もシステムを扱うことができるようになり、学校や学年のサイトを立ち上げ、休校中の健康観察や学力保障に尽力できた。児童も教職員の作成したサイトやアップした動画を楽しみとし、つながりをもつことができた。
アピールポイント（アイデアや工夫）： ・「児童のために」という気持ちはもちろん大切。教職員が一人の人間として心身ともに健康であることはもっと大切。そのために必要なことは取り組むべきと判断する。 ・「児童主体」の考え方を基盤とし、教職員一人一人の個性を發揮した授業設計を行う。 ・揃えるところは揃える。変えるところは変える。判断基準は子供の困り感。何を揃えれば子供は安心して学習に臨めるのかを考える。

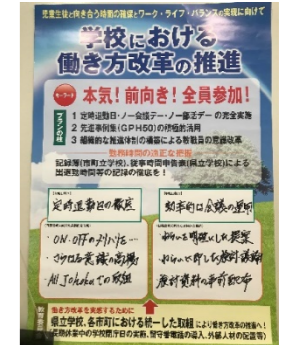
リデュースストレス

【教職員編】

学年別リフレッシュデー

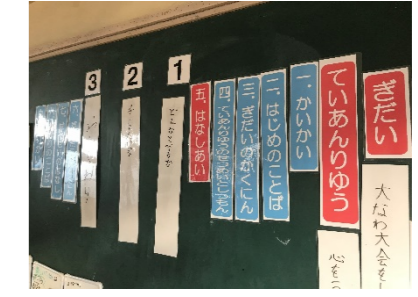
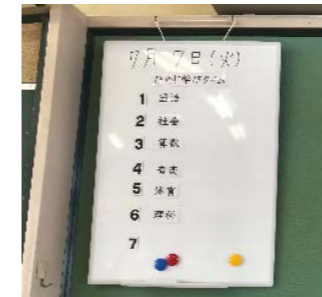


- 会議 1 時間設定
- 家庭訪問の廃止
- 掃除無し時程での放課後時間の確保
- 個人懇談会の時間外設定の廃止



【児童編】

教室掲示物の統一



生まれた時間を活用した授業改善研修

新しい授業づくりフォーマットの提案

小中一貫の研修における「ブランドカリキュラム」との関連から、「学びのプロセス」を大切にした授業設計の提案ができた。児童が学びを深めていく過程を、児童の思考の流れを大切に、主体的に学んでいく姿を授業案に浮かび上がらせることで、「自学力・探究力」を育む授業を日常的に設計できるようになった。

今後の見通し

コロナ禍を考慮し、G-suite for Education を活用した授業づくりの研修

一人一台のクロムブックが支給されることから、G-suite for Education の活用は必須である。

Classroom の活用

理科の実験動画の共有など、児童のタイミングで確認したいものを見ることができる。

Meet の活用

全校朝会、全校集会などを行うことで、集合せずにつながりを保つことができる。

教室に入りづらい児童も授業に参加することができる

Google earth・jam board の活用

授業の教材に取り入れることで、学習への支援となり、学習への意欲や理解を深めることができる。

クロムブックの活用

ログイン方法から、検索、写真撮影など、簡単な操作に慣れ、一人一台端末となった時に備える。